

令和2年(2020年)9月26日(土曜日)

### 三島駅前再開発の地下水保全

## 計画決定後「より具体策」

一般質問  
市議会

三島市議会9月定例会は25日、一般質問を行った。市はマンションなどを建設する三島駅南口東街区の再開発事業が及ぼす地下水への影響について、本年度中に予定している都市計画決定以降に「より具体的な保全体制が整う」とし、継続中のモニタリング調査なども踏まえながら対策を進める方針を示した。

市は地下水対策として、近い地盤の弱い発泡溶岩層があるほか、今年のように地下水位が上昇した場合はマンションの基礎が湧水に影響を及ぼす危険性を指摘。費用対効果を示す「費用便益比」も新型コロナウイルスによる社会不安などで悪化する可能性があるとし、都市計画決定の延期と事業の見直しを訴えた。

石井真人氏(新政会)

た上で、都市計画決定後の設計業務で「より具体的な地下水保全策を示せる」とした。建築物の構造も地盤調査の結果を踏まえて定めるとし、建物を支える地盤の力が基準値に満たないとこの事態は否定了。社会経済情勢の変化による費用便益比への影響についても「大きくない」と述べた。

このほか、服部正平(共産)、岡田美喜子(新未来21)、甲斐幸博(緑水会)の3氏も登壇した。

(三島支局・金野真人)